

皇太子「闘い」の成否／非正社員したたか逆襲

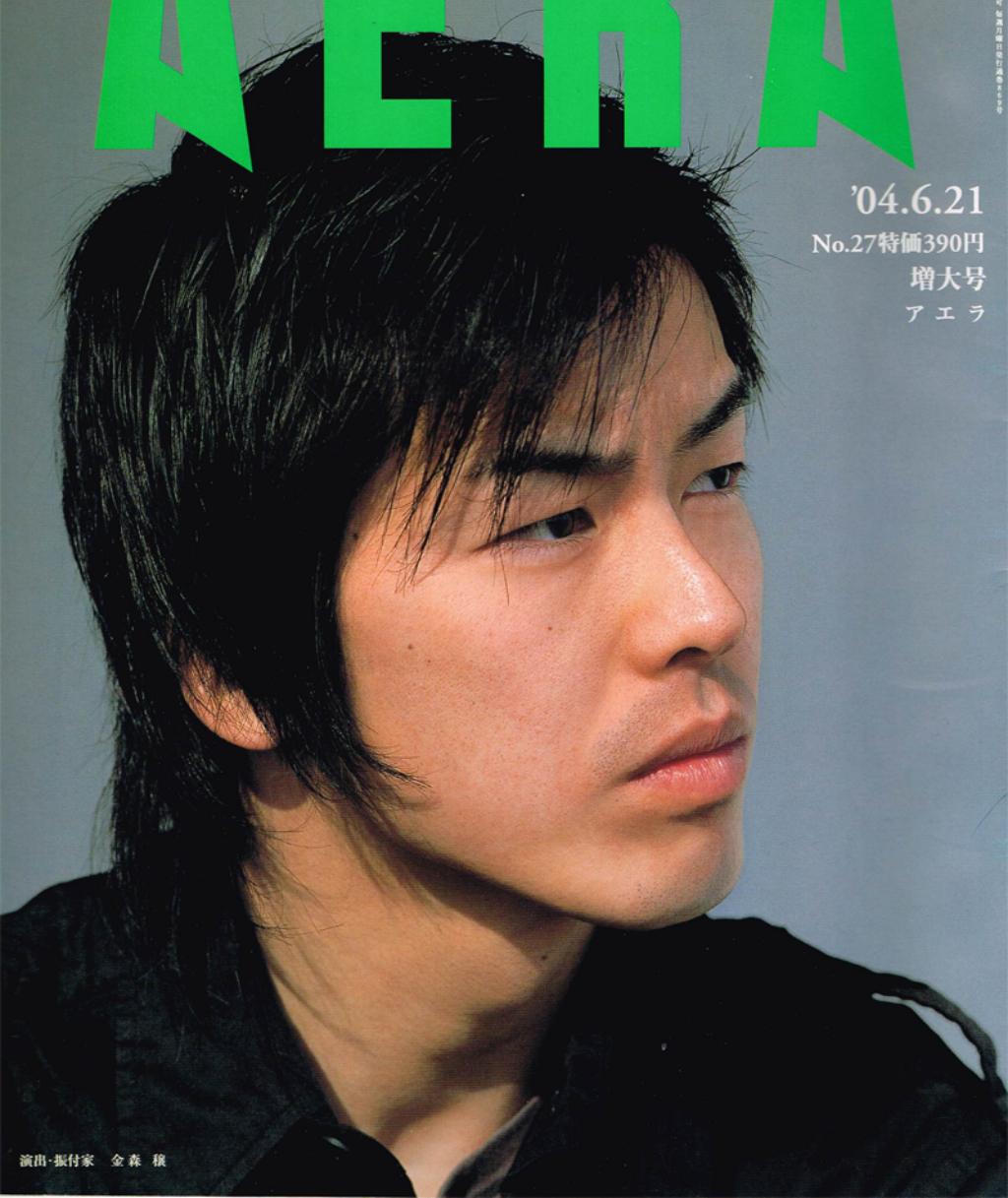
AERA

'04.6.21

No.27 特価390円

増大号

アエラ



女兒を持つ母親の誤解

女兒を持つ親に、「佐世保ショック」が広がる。

女の子って、育てやすいんじゃなかつたの?

微妙な友達付き合いを、どう見守つたらいい?

「うせえ!」といわれた時、何て言えば?

子どもって、いつまでも子どもじゃないのだ。

「ゆみちゃん、クラスでちょっとと悲しい目にあってるみたいよ」と

「悲しい目にあってるみたいよ」と

「えられて、京子さん(38)は驚いた。

思っていた。でも、確かにちょっとと変だなとは

「元気ないね。何があったの?」

「そんな会話をしていた程度で、何も聞いていない。それがショックだった。改めて聞くと、確かに娘は仲間はずれにされ、すぐ後ろ

「あの子が最初、悪口を書き始めた。自分たちも、特に嫌いじゃないけど悪口を書いた。そうしないと、次は自分が書かれるから

悪口を書くのが嫌で日記を書かず

にいたら呼び出され「あなたは書

ける可能性があるから日記やめてくれない?」と言われた。」

結局、その子以外の友達が娘のところに謝りに来て、一緒に泣きながら和解した。以来、親の間では、どんな小さなことでもアンテナを張って情報交換をしようね、と声をかけあっている。

交換日記はついぞり

強い子。

この言葉が、娘を持つ母親たち

から何度も出てくる。親からみる

と明るく活発で天真爛漫、成績上位。遊びの発想も豊かで、グループの頼れるリーダー。だがわがま

まな所もあり、その子の機嫌を損

ねるとグループにいられなくなる。

かおりさん(37)も、小3の娘が、

一時、心を悩ませた。通学中の電

車内でゲームをしようと言われ、

つき合つてしまつた。好きななし

ルを見せたら、取られた。



長崎県佐世保市の大久保小学校には、花が手向けられている。家教送致された女兒の付添人弁護士は6月11日、女兒の精神鑑定を長崎家裁佐世保支部に申請した

で内訳話をさせたり、くすくす笑われたりする毎日に耐えていた。始まりはクフフの仲良し歓喜の交換日記。「強い子」が娘の姿勢を日記の中で攻撃し、後から他の子も書く。デブ、ブタ……。覗いた日記は悪口だらけだった。

周りの子にも聞いた。日記は悪口だらけだった。

「べつに」「学校、楽しい?」「楽しい」「楽しない」と

「あの子が最初、悪口を書き始めた。自分たちも、特に嫌いじゃないけど悪口を書いた。そうしないと、次は自分が書かれるから

悪口を書くのが嫌で日記を書かず

にいたら呼び出され「あなたは書

ける可能性があるから日記やめてくれない?」と言われた。」

結局、その子以外の友達が娘のところに謝りに来て、一緒に泣きながら和解した。以来、親の間では、

どんな小さなことでもアンテナを張って情報交換をしようね、と声をかけあっている。

